

出席状況 2019年7月

出席・・○ マークアップ・・△ 欠席・・× 出席免除・・□

No	氏名	2	9	16	23	30	出席率	No	氏名	2	9	16	23	30	出席率
1	亀川 栄一	○	○	○	○	○	100	46	井手上 功	×	×	×	×	×	0
2	親泊 一郎	○	○	○	○	×	80	47	白石 武博	×	○	×	○	○	60
3	新本 博司	△	○	△	△	△	100	48	北田 敦司	×	×	×	○	○	40
4	与座 嘉博	○	×	○	×	○	60	49	上原 進	×	×	×	×	×	0
5	宮城 和博	○	○	×	×	×	40	50	与那覇 正明	×	×	×	×	×	0
6	森 兵次	○	○	○	○	×	80	51	上原 修	×	○	×	×	×	20
7	新垣 淑典	○	○	○	○	△	100	52	真栄城 嘉史	×	×	×	×	×	0
8	安里 政晃	○	△	○	△	△	100	53	新垣 竜也	×	×	×	×	×	0
9	名嘉 義明	○	○	○	○	△	100	54	安里 繁信	×	×	×	×	×	0
10	上原 義信	○	○	○	○	○	100	55	菊永 栄一郎	○	○	×	○	○	80
11	當間 卓	○	○	○	×	○	80	56	長嶺 国盛	×	×	×	×	×	0
12	中村 聡	○	×	×	×	○	40	57	傍田 賢治	○	○	○	△	○	100
13	碓井 暁	×	×	×	○	○	40	58	畔上 修一	○	○	×	○	○	80
14	湧川 祐一	×	×	×	○	○	40	59	東川平 信雄	×	×	○	×	×	20
15	比嘉 孝明	○	○	△	○	×	80	60	前原 正人	×	○	×	○	○	60
16	山城 博美	○	○	○	○	△	100	61	藤井 幸	○	○	×	○	○	80
17	亀川 偉作	○	○	○	○	○	100	62	米須 義明	×	○	×	×	×	20
18	梶原 浩美	○	×	×	○	○	60	63	赤嶺 太介	×	×	×	×	×	0
19	吉村 規亮	×	×	×	×	×	0	64	本郷 光一郎	×	○	○	×	×	40
20	新垣 淑豊	×	○	×	○	○	60	65	桑野 直彦	×	○	○	○	○	80
21	長山 宏	○	○	○	○	○	100	66	堀川 剛	○	×	×	×	×	20
22	与儀 達樹	×	×	×	×	×	0	67	桑原 康二	○	×	○	○	○	80
23	平良 修一	○	×	×	×	×	20	68	石垣 正春	○	○	○	○	○	100
24	金城 智誉	○	○	○	○	○	100	69	今西 泰彦	×	○	○	○	×	60
25	鈴木 康友	△	○	△	△	△	100	70	下地 浩之	×	×	×	○	×	20
26	松島 寛和	○	○	○	○	○	100	71	川畑 盛一	○	○	○	×	○	80
27	崎山 喜久雄	○	○	○	○	○	100	72	佐久本 学	×	×	×	○	×	20
28	新里 哲郎	×	×	×	×	×	0	73	松元 剛	○	△	△	×	○	80
29	杉本 健次	○	×	×	×	○	20	74	相良 真澄	×	○	○	×	×	40
30	三反園 修	×	×	×	×	×	0	75	義元 大蔵	×	×	×	×	×	0
31	長嶺 善憲	○	×	○	×	×	40	76	砂川 満邦	×	×	×	×	×	0
32	保田盛 清士	×	○	×	×	×	20	77	鈴木 健介	○	○	○	△	○	100
33	喜屋武 尚	×	×	×	×	×	0	78	三上 昂	×	×	×	○	×	20
34	許田 洋	×	×	×	×	×	0	79	永田 健一郎	○	○	○	×	○	80
35	津嘉山 伸	○	○	○	×	×	60	80							
36	國吉 健	×	×	×	×	×	0	81							
37	伊志嶺 匡	○	×	×	×	×	20	82							
38	具志堅 興一	×	×	×	×	×	0	83							
39	今福 吉和	×	×	×	×	×	0	84							
40	渡辺 英昭	×	×	×	×	×	0	85							
41	下石 衛	×	×	×	○	×	20	86							
42	新垣 安仁	×	×	×	×	×	0	87							
43	朱 蘇建	×	×	×	×	×	0	88							
44	宜保 文雄	×	×	×	×	×	0	89							
45	吉岡 洋平	×	×	×	×	×	0	90							

お間違い、ご報告もれがありましたら出席委員長又は事務局までご連絡下さい。

週報

ロータリーは
世界をつなぐ

Rotary connects the world

マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度 国際ロータリー会長



第2744号

2019年
11月5日
2019年
NOV



第2868回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	83名
出 席 計 算 会 員	83名
出 席	30名
欠 席	53名
出 席 率	36.14%

欠席会員名 新本、宮城、碓井、湧川（祐）、山城、亀川（偉）、梶原、吉村、長山、与儀、平良（修）、鈴木（康）、松島、新里、杉本、三反園、長嶺（善）、保田盛、喜屋武、許田、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣（安）、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、北田、上原（進）、与那覇、上原（修）、真栄城、新垣（竜）、安里（繁）、長嶺（国）、畔上、藤井、米須、赤嶺、石垣、下地、相良、義元、砂川、三上、中野、東川平（靖）、小川。

MAKE-UP 新本<G公式訪問：東京練馬西・東京練馬中央 2RC 合同、在京・地区社会奉仕全体会議、多摩分区 IM、D2610 地区大会、米山三者懇>新垣（典）<多摩分区 IM、地区大会実行委員会>安里（政）<多摩分区 IM、地区大会実行委員会>長山、堀川<地区大会実行委員会>山城、白石<米山三者懇談会>

MAKE-UP（続き）鈴木（康）<山形南>

ビジター 西村 眞一氏（那覇東）

ゲスト・スピーカー 國吉 博樹氏（沖縄セルラーアグリ&マルシェ 代表取締役社長）

☆プログラム

11月12日（火）

「イニシエーションスピーチ」

第一生命保険（株）那覇支社 支社長

本郷 光一郎 会員

11月19日（火）

「ロータリー財団月間にちなんで」

地区ロータリー財団委員会

安里 政晃 地区委員

11月26日（火）

「イニシエーションスピーチ」

瑞泉酒造（株）代表取締役社長

佐久本 学 会員

12月3日（火）休会

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1（パシフィックホテル沖縄1階）TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 上原 義信 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 當間 卓 副会長/クラブカウンセラー 安里 政晃
幹事 金城 智誉 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 傍田 賢治 委員 真栄城 嘉史 与那覇 正明

■ニコニコ BOX (*^^)

森 兵次 会員 JTA の機関誌コーラルウェイで
自転車特集を組んで頂いてニコニコ。

■幹事報告 金城 智誉 幹事 東日本大震災被災地復興支援

「気仙沼視察のご案内 (予告)」

「2020 年 3 月 26 日 (木)・27 日 (金) にて、
いまだ続く気仙沼市内の区画整理、防潮堤工事
の視察や、震災前の売上げに戻すことに苦労さ
れている水産加工会社へのヒアリングとともに
、気仙沼南ロータリークラブのみなさまと親
睦を深めることを予定しています。当地区の各
クラブは東日本大震災以降、継続して被災地の
支援を継続しています。今回、「被災地の現状を
実際に視察する機会が必要である」との考えか
ら、ガバナー、地区社会奉仕委員会、地区ロー
タリー希望の風奨学金支 援委員会とで「気仙沼
視察」を企画しました。なお、当地区は 2016 年
11 月 8 日・9 日に気仙沼視察を開催しており、
そのフォローアップの意味もごさいます。現地
の方々との交流を通し被災地の現状を知り親睦
を深めたいへん良い機会になることと存じま
す。ぜひ多くのロータリアンにご参加いただき
たく予告申し上げます。概略は下記のとおりと
なります。 なお、正式なご案内は、2020 年 1
月上旬ごろを予定しております。」

1. 形式： 現地集合・現地解散です。
2. 日程： 2020 年 3 月 26 日 (木) 11:45
気仙沼駅集合 12:30 気仙沼南 RC 例会出席
14:00 気仙沼市内視察 18:00 気仙沼南 RC と懇
親会 2020 年 3 月 27 日 (金) 9:00 解散
※ 希望者のみ、昼食まで気仙沼市内視察
3. 宿泊： 気仙沼市内のホテル (ホテル観洋ま
たはプラザホテル) ※ 地区にて予約します。
4. 参加費： 約 20,000 円 (例会費、懇親会費、
宿泊費 (朝食、温泉付き)、市内移動費など)
※ 気仙沼までの交通費は各自ご負担となりま
す。お申込み： 地区社会奉仕委員 茂木様まで。
[クラブ名とお名前を添えて info@motoffice.jp](mailto:info@motoffice.jp)

■特別会計 2019-20 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX	¥2,000
ニコニコ BOX 累計	¥137,000

■会長報告 上原 義信 会長

*先週は首里城の焼失という悲しい出来事があり皆さんも心を痛めた事と想います。今後は再建に向けて出来る事をクラブとしても考えて行きたいと考えております。本日の理事会で創立 60 周年にちなみ 60 万円の寄付を当クラブ名誉会員の城間那覇市長へお贈りする事が承認されましたのでご報告させていただきます。今後も首里城再建への寄付金は継続と致します。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

■委員会報告

ロータリー財団委員長 亀川 榮一①



とうとう
230ドル
当
たり
230
ドル
本
年
度
も
会
員
一
人
の
ご
寄
付
を
あ
り
が
と
う
ご
ざ
い
ま
す。

*11 月はロータリー財団月間です。本日配布されました『ロータリーの友』11 月号の 39 頁にインドでのポリオワクチン投与参加 (ボランティア) への参加を呼び掛ける記事等ロータリー財団の記事が掲載されております。是非、お読み下さい。最後に、ロータリー財団 (本部) 作成の「未来は今つくられる」という 1 分 50 秒の動画をご覧下さいまして引き続きロータリー財団へのご協力をよろしくお願い致します。

■❀11 月の誕生祝い❀ おめでとうございます

- 2 日 北田 敦司 (きただ あつし) 会員
- 3 日 保田盛 清士 (ほたもり きよじ) 会員
- 3 日 松元 剛 (まつもと つよし) 会員
- 4 日 東川平 靖 (ひがしかわひら やすし) 会員
- 6 日 相良 真澄 (さがら ますみ) 会員
- 7 日 松島 寛和 (まつしま ひろかず) 会員
- 11 日 鈴木 康友 (すずき やすとも) 会員
- 19 日 藤井 幸 (ふじい こう) 会員
- 26 日 砂川 満邦 (すなかわ みつくに) 会員

☆2019 年 9 月台風 15 号災害支援金・首里城再建へのニコニコへのご協力よろしくお願い致します。

親睦活動委員長 堀川 剛

■自転車をこいでポリオ根絶 読者の皆さま、はじめまして。私はエバンストン事務局に勤務している加藤と申します。11 月 23 日、ポリオ根絶のための自転車レースにスタッフメンバーとして出場します。ポリオ根絶活動を応援し、日本からの関心と支援を高めたいという気持ちから、本稿を紹介させていただきます。本稿をお読みの上、よろしければ下の項目で紹介されている方法で、ポリオ根絶自転車レースへの個人のご支援をご検討いただければ誠に幸いです。ご寄付を遠慮される場合でも、参考としてお読みいただければと思います。

■自転車レースとチーム 自転車レースに参加することが、なぜ、ポリオ根絶につながるのでしょうか。日本では耳慣れない方法ですが、世界ではレースの機会を利用して慈善活動をアピールし、募金を集めることが頻繁に行われています。ロータリーもこれまでにこの方法で 5330 万ドル以上の募金を集めてきました。El Tour de Tucson というアリゾナ州ツーソンでの自転車レースで、全長 102 マイル (約 164km) のコースです。だいたい東京のロータリー日本事務局から日光東照宮、または名古屋から新大阪ちょっと手前ぐらいの距離です。サボテンが乱れ育ち、昼夜の気温差が大きいので注意が必要です。アリゾナのロータリアンが総力をあげてサポートしており、世界中から自転車愛好家のロータリアンが参戦しています。事務局から出場するのはジョン・ヒューコ事務総長と、スタッフ 6 名 (うち 3 名はロータリアン) です。メンバーの Naish は二人のいとこをポリオで亡くしており、強い意気込みがあります。共通点として、みな大好きな自転車でポリオ根絶の力になりたいと感じています。102 マイルは長そうですが、ゆっくり走れば大抵の自転車好きなら走破できると思います。ただ私たちにとってはポリオ根絶への思いをぶつけるレースなので、いづれか無茶を覚悟のペースで走ります。また、50 マイル (約 80km) と 25 マイル (約 40km) のコースもあります。100 マイルは大変だけれど、レースの雰囲気を楽しみながらポリオ根絶を応援したいという方にお勧めです。ロードバイクは現地でレンタルすることもできます。

■出場する理由

私は日本生まれの日本育ちで現在 40 歳です。ポリオ流行を経験しておらず、ポリオの個人的体験談はありません。レースに出ることを決めた理由は、第一に、これまでとは異なる方法でポリオ根絶活動に加勢できることです。しかし、ほかにも 2 つの理由があります。一つは、新しいタイプの募金方法を紹介したいというものです。このポリオ根絶自転車レースは、「Peer-to-Peer ファンドレイジング」と呼ばれる募金方法の部類に入るもので、特定の目的や団体を支援している人を応援するために募金を行うというものです。つまり、ポリオ根絶活動の支援を目的にレースに出場する人たちを応援するため、募金を行うということになります。近年、世界的に注目が集まっている方法で、マラソンに参加する人や、ときには誕生日の人が自分へのプレゼントの代わりに募金を呼びかけることもあります。「日本にはあまり関係ない」というのが以前の私の反応でしたが、最近では日本での実施も増えているようです。活動資金を集めるクラブの会員にとって、一つの選択肢になるかもしれません。もう一つ、親としての理由があります。6 歳の息子がおり、片方の耳が聞こえません。私は本人がそれを心の悩みにしてしまうことを恐れています。今のところそんな感じはなく、学校でも元気で積極的だと言われますが、子ども同士のやり取りが気になります。私にできることは、世の中には障がいのある人たちを支援し、障がいを防ぐために行動する人たちがいることを教えてあげることです。それを知ることは心の支えになると思います。ポリオ根絶自転車レースは、ほかの募金活動と同じく、そういう心につながる面があると信じています。(次号へ続く)